

NO. 1

平成28年度

事業報告書

社会福祉法人 あおい会

平成 28 年度本部事業報告

平成 23 年に「障害者虐待禁止法」 平成 25 年には「障害者差別解消法」が成立しているにもかかわらず、平成 28 年 7 月に社会全体を震撼させた、神奈川県津久井やまゆり園での殺傷事件が起きました。

犯人の障害者に対する考え方は人の命というものを完全に無視したものであり、また、その考え方と共感した人もいると聞いています。それに加えて毎年障害者への虐待が報告されています。法人としては障害の有無にかかわらず、人の命の大切さを啓発して来ましたが、今後も強く働きかけていきたいと思います。

法人として、長年の懸案事項でありました、あおい学園の新園舎建て替えが平成 29 年 2 月に完成し、外構工事も平成 29 年 4 月に完了しました。建蔽率の関係で職員関係の部屋が少し手狭なところもありますが、今後発生するとされています南海トラフ地震、東南海地震に対する対策が一歩前進したと思います。

社会福祉法人制度改革による様々な変更・改正がありましたが、あおい会としましては、予定通りに進んでいると思います。まだ、残された課題もありますが予定通りに進めていきたいと考えています。

寄贈される予定となっています土地につきましては、再度定款変更して、書類を作成して国税局に申請書を提出してから約 1 年半から 2 年の期間を要するとのことですので利用予定につきましては慎重に審議して決定したいと思います。

利用者満足度調査につきましては、コンサルタントとの契約解除をした関係で、以前のような調査が実施されておりません。

今後も、選んでいただけるよう施設作りに励む所存です、来年度もよろしくお願ひいたします、平成 28 年度の事業報告とさせていただきます。

平成28年度事業報告

あおい学園

1. 定員と現員 (H28年度末)

定員 30名 現員 31名

利用延べ人数 6,292名 (12ヶ月分)

2. 入園児・卒園児数

入園児 15名 (H28年4月)

卒園児 10名 (H29年3月)

3. 月別在園児数 (契約者数)

4月～3月 31名

4. 年齢別園児数 (H28年度末)

1才	2才	3才	4才	5才	6才
0名	0名	0名	11名	11名	9名

5. 障害程度 (H28年度末)

療育手帳	A1 0名	A2 5名	B1 7名	B2 14名	計 26名
------	-------	-------	-------	--------	-------

6. 住所内訳 (H28年度末)

和歌山市	31名	他	0名
------	-----	---	----

7. 療育支援

発達に遅れのある就学前の幼児が、毎日通園して集団生活を通じて障害を克服し、発達を促してできるかぎり社会生活に適応できるよう、療育支援を行い未発達の諸機能の発達促進に努めました。

8. 保健衛生

内科健診	6月3日、12月13日
歯科健診	5月25日
検尿	6月15・16日
耳鼻科健診	6月7日

9. 年間行事

4月	4/6 前期支援始まり 内科健診	入園式 保護者会総会
5月	親子遠足（和歌山城公園） 児童福祉週間プレゼント（県障害福祉課様来園） 母親教室（和大付属特別支援学校見学）歯科検診	
6月	保護者会見学（コスモス支援学校分校） 保護者会見学（県立紀北支援学校・さくら支援学校）	母親教室
7月	七夕祭り行事 自由参観日	あおい夏祭り（ゲーム・お店屋さん・スイカわり）
8月	プールあそび（園庭）	夏休み（8/13～8/15）
9月	母親教室（O Bの母親体験談）	個人懇談会 9/30 前期終了
10月	10/1 後期支援始まり	親子運動会
11月	親子遠足（片男波公園）	自由参観
12月	親子クリスマス会	冬休み（12/29～1/3） 内科健診
1月	1/5 支援始まり 母親教室	親子制作教室
2月	節分行事 父親参観（日曜参観）	母親教室
3月	ひなまつり行事 卒園式	個人懇談会 お別れ遠足（みさき公園） 新入園児1日体験通園 3/31 後期終了
その他	身体測定・避難訓練・園外支援・誕生日会・作業療法支援 音楽療法支援 絵本読み聞かせの会を毎月1回実施 園外保育実施（和歌山城・市内の公園・JR和歌山駅・図書館・スーパー・マーケット・郵便局・神社・秋葉山）	

10. 職員研修

各種の園外研修会や園内研修会に参加しました。また各支援学校の研究発表会に参加しました。

11. 園児募集

和歌山市役所や市保健センター等に園児募集の協力を依頼し定員を確保しました。

12. 園児の防災対策

毎月避難訓練を行っています。

平成28年度 事業報告書

社会福法人あおい会 あさも園

あおい会経営理念である「人が生き生きと楽しい生活を送るお手伝いをする」に基づき、利用者さん本位の質の高いサービスの提供に努め、自立と社会参加の促進を目指し、利用者さんの意思決定に配慮した支援を行うとともに一人ひとりに応じた日中活動の提供と、地域社会と一体となった取り組みを展開してきました。また、「権利擁護」と「災害対策・安全管理」の徹底を掲げ、各委員会を中心として討議・実践を重ねて参りました。

1. 事業内容

◇生活介護事業 (利用者数：32名)

利用者さんの日常生活の自立に必要な支援(食事・排泄・整容・着脱衣等)の提供、また創作活動(お花・フラダンス・太鼓・軽運動・手話ソング・音楽鑑賞・創作・ビデオ鑑賞・カラオケ・調理実習等)や生産活動(スポンジの袋詰め作業等)の機会を提供し、豊かな生活が送れるよう支援して参りました。

◇就労継続支援 B型事業 (利用者数：21名)

やりがいを感じながら生産活動のできる内容(クッキー製造作業・スポンジの袋詰め作業)のものを提供し、生産する喜びとともに就労意欲の向上に努め、作業に自信と誇りが持てるよう支援して参りました。

2. 人権擁護・虐待防止対策

人権擁護推進・虐待防止委員会により、定期的な会議(二ヵ月に一回)を開催、権利擁護と虐待の防止に向けての研究・討議を行ないました。

さらに、人権擁護・虐待防止に関する職員の知識・技術の向上を図るため、計画的な職員の外部研修参加及び伝達研修等内部研修を実施しました。

また、利用者アンケート、職員の支援者チェックテストを行うことで、職員個々の課題を発掘し、対応策等について検討して参りました。

3. 地域との交流

紀伊地域の文化祭“紀伊文化まつり”や“子ども見守り隊”への参加、また施設周辺の清掃活動などを実施して参りました。

4. 実習生の受け入れ

地域貢献・地域交流の一環として、また、社会に開かれた事業所として、中学校・支援学校生徒の職場実習、看護学校や福祉専門学校学生の福祉現場実習など積極的に実習生を受けて参りました。

5. 非常災害の予防と安全確保

毎月消防訓練・避難訓練を実施し、防災対策と利用者・職員の安全確保に努めました。

災害対策・安全管理対策推進委員会により、定期的な会議(二ヶ月に一回)を開催、災害対策・安全管理について研究討議・実践を行ってきました。南海トラフ地震等の備えについては、県の危機管理・消防課によるご助言も参考にして、給食委託事業者と災害時の食料確保についての話し合いを行い、備蓄についての方向性を持つことが出来ました。食料品以外の備え等の安全対策についても継続して取り組んで参ります。

6. 職員の資質の向上

各種研修会に参加、伝達研修等内部研修を実施し、職員の知識・技術の向上に努めて参りました。

7. 年間行事等

月 日	行 事 等
4月 8日	お花見 サーカス観覧(マリーナシティ)
5月 10日～12日 13日 20日 25日～27日	紀北支援学校実習受け入れ 生活班遠足(緑花センター) 就労班遠足(ポルト ヨーロッパ) 紀北支援学校実習受け入れ
6月 15日 22・23日	保護者会総会(北コミュニティセンター) さくら支援学校実習受け入れ
7月 7日 22日	内科検診 水泳教室(岬町ピアツア5)
9月 6日～8日 14日～16日 15日・16日 28日	紀北支援学校実習受け入れ コスモス支援学校実習受け入れ さくら支援学校実習受け入れ コスモス支援学校見学受け入れ
10月 6日 19日・20日 26日・27日	日帰り旅行(白浜アドベンチャーワールド) 日赤看護学生実習受け入れ 6名 日赤看護学生実習受け入れ 5名
11月 11日 21日	運動会(子ども婦人障害者相談センタ一体育館) コスモス支援学校見学受け入れ
12月 5日・6日 7日～9日 18日 22日 28日	紀北支援学校実習受け入れ さくら支援学校実習受け入れ ゆうあいスポーツフェスタ(ビッグホエール) クリスマス会 仕事納め

平成 29 年

1月 5 日 10 日・11 日 27 日	仕事始め 戎詣で（大宮神社） コスモス支援学校・さくら支援学校見学受け入れ
2月 8 日	さくら支援学校見学受け入れ
3月 2 日 15 日・16 日 17 日	内科検診 さくら支援学校実習受け入れ コスモス支援学校見学

平成28年度太陽の丘事業報告書

(1)施設の概要

① 所在地 和歌山県海南市上谷777-1

② 利用定員

生活介護：87名 施設入所支援：70名

短期入所(空床型)：6名

グループホームふあんふあん：8名

グループホームかつらぎ荘：3名

③ 居室構成 一人部屋(8) 二人部屋(7) 四人部屋(14) 計29室

④ 平成28年度の概要

* 太陽の丘は障害者総合福祉法サービス体系で、「全ては利用者さんのために」のスローガンのもと支援を提供しました。

平成28年度には男性1名が逝去し、男性1名、女性1名が入所し、平成28年度末の現在員は70名。

(2) 施設方針

施設方針「リスクマネジメントの充実で、大切な利用者さんを守って、がっちり信頼関係を築き、家族と利用者さんに安心を提供する」に則り、「利用者さんの生命・諸権利を保障」し、なおかつ一人一人の個性を尊重した利用者さんが安心・安全に生き生きと楽しい生活が送れる高品質で多様なサービスを提供し、施設らしさを感じさせない家庭的なサービス提供を行いました。

(3) 生活支援

「生活の場」としての衣食住の環境の充実を図ると共に、利用者さんの高齢化を念頭に置き、安全安心に生活できる場の提供を行えるように取り組みました。

また日常生活に必要な基本的習慣の自立を目的に、身辺処理・清掃活動に取り組み、更に毎日の積み重ねによって社会的適応性を育成し、地域生活への移行を念頭においた支援に取り組みました。

(4) 日中活動

〔花係〕

花係の所属利用者さんは、22名。活動内容としては、スポーツフェスタで使われるゼッケンをフェスタ協会より委託を受けてのクリーニング作業、保護者会・職員からお持ち頂いた空き缶・新聞紙等のリサイクル作業を主に行いました。そして個々の身体機能や能力に応じたプログラムを作成し、運動レクリエーションとしてラジオ体操やウォーキングに取り組み、怪我や廊下の予防に努め各自にやりがい・生きがいを持ってもらう様な活動支援を提供しました。。

〔鳥係〕

鳥係の所属利用者さんは、23名。

28年度は次の3つの目標を掲げ、活動に取り組みました。

① 「係単独の活動を行って、活動への定着を図る」

今年度は係単独で活動を行うように他の係と協力した結果、係別で行える活動が増えています。利用者さんも自分の所属係を自覚して、案内放送が流れたら自分が鳥係だと意識して作業場所に移動することが徐々に定着出来るようになってきました。

② 「活動内容を充実させて、意欲の向上につなげる。」

レクレーションの一つとして同じDVDやビデオを見て貰っていましたが、それをもう少し多様化したものを提供するために海南市児童図書館で貸し出されているDVDと紙芝居を活用して提供しました。特に好評だったのが紙芝居で、支援員が直接話しかけてというものなのでか、皆さん集中して参加し楽しんでくれました。

また作業で取り組むものとして、ブラシの袋詰めの加工作業を導入しました。作業内容等が難しい面もあったんですが、「やりたい」と言う利用者さんの意欲が凄く見られました。他にも、玄関前の清掃及び洗車等にも取組みました。

③ 「外出の機会をつくり、気分転換を図る。」

海南市児童図書館を利用者さんと活用しています。

そして、散歩も活動に取り入れて、体を動かす機会もつくっています。その中で散歩しながら体力を付けて貰って、健康維持・リフレッシュにもつながる活動に取り組みました。

〔宙係〕

宙係の所属利用者さんは、25名。

宙係は「体力的な要素」、「知覚的な要素」、「生活的な要素」この3点を軸とし、活動を行いました。

「体力的な要素」は、棟内・屋外での軽運動（音楽に合わせて体を動かす・トランポリン・ボール等の遊具を使用して体を動かす・散歩等）を中心に行い、体力の維持に努めました。高齢化が進んできている中、怪我の予防等にもつながるので少しでも体を動かして体力の維持をして頂こうと積極的に取り組んで参りました。

「知覚的な要素」は、DVD・音楽鑑賞、カラオケ等にて興味の刺激、感覚に刺激を与えるような活動に取り組みました。

「生活的な要素」は、シーツ交換・大掃除・部屋の掃除・衣類などの整理等を中心に行う事により、生活能力の維持・向上を図って参りました。

(5) 余暇活動支援

余暇活動として、「社会資源活用（短時間の外出）」などを企画・提案し、全利用者さんに社会に触れる機会を提供することを目標に余暇学習活動に取り組みました。そして利用者さんが、その人らしく生活を営むためには、さまざまな人との関わりを育て深める必要があると思います。施設に閉じこもったままでなく、社会に出てたくさんの刺激を受けて頂けるサービスの提供に取り組みました。

具体的な活動として、従来のプロ野球観戦や宝塚観劇、NGK観覧等のほか、皆が参加出来るとということ（短時間の外出）を取り入れて行ってきました。その他歌謡コンサートは年1回実施の予定となっていましたが、予定していたコンサートが日程の都合上行くことが出来ず、来年度に持ち越すことになりました。

(6) 買物外出・パーソナルプランについて

平成28年度は、多くの利用者さんに外出の機会を提供させて頂くことを目標に取り組んで参りました。

パーソナルプランでは利用者さんの希望を前提に外出して頂き、またドライブ・買物等も行って頂く事で太陽の丘では、感じられない季節・空気感・食事を体験して頂ける取り組みを行いました。

* 28年度パーソナルプラン／買物外出、一人あたり年3回

(7) 看護係

検診関連として年に一回歯科検診を6月に実施。平成29年3月に健康診断・血液検査・胸部レントゲン・尿検査を実施しました。また11月には、インフルエンザの予防接種(11月)を実施しました。日常的には感染予防として、皆さんに手洗いうがいの励行を実施しています。

次に通院についてですが、厚生病院の神経科・内科・外科・整形外科・眼科・泌尿器科、さいとう耳鼻科、吉村皮膚科・宮本病院・和歌浦病院・井内歯科に各種の通院を実施しました。肺炎・腸閉塞・外傷等での入院が13件ありました。

理美容につきましては、男女各月1回実施しております。

(8) 権利擁護・エチケット委員の選任

毎月4名の職員(経験年数の短い人＆長い人各2名)を委員として選任し、その4名を中心に虐待防止の対応・対策及び改善を図り、併せて人権に配慮された対応でサービスを提供しました。

(9) 年間行事

家族の方々と楽しいひと時を過ごし、交流を深め家族のきずなを確認することと併せ地域の方々との交流を目的に各種の行事を開催しました。

(10) 食生活

栄養面だけではなく雰囲気・献立・盛り付け・食器・食事マナーなどに配慮し、月に数回メニューを複数用意し食事選択の自由も考えた食事を提供しました。

また平日の昼食時には、利用者さんを4つのグループに分けて出来立ての副食を温かいうちに味わってもらえる食事を提供しました。

給食会議を開催し、嗜好調査を平成29年1月に実施し、食事の形態に関わる協議を行い、豊かで潤いのある食事の向上に取り組みました。

(11) 防災管理体制

太陽の丘防災計画に則り次の各種訓練を実施し、利用者さん・職員の火災・自然災害に対する意識向上をめざし防災対策の充実強化に取り組みました。

訓練内容／避難訓練(1回／月)・夜間避難訓練(平成26年8月)

総合防災訓練(平成28年3月：海南省消防署員指導)

普通救命講習(平成28年3月：海南省消防署員指導)

防災設備器具の、維持点検の実施。(平成27年7月・平成28年1月)

(12) 実習生・ボランティア受け入れ

大学・専門学校より次の通り実習生の受け入れを行い、支援に対する知識・技術やノウハウを提供すると共に知的障害及び福祉施設に対する理解促進に取り組みました。また利用者さんにとって単調になりがちな施設生活の中で、実習生・ボランティアを受け入れることで社会の風に触れる一助となりリフレッシュにつながるサービスの提供を行いました。

* 平成28年度実習生の受け入れ

4月：南海福祉専門学校(1名)

8月：大阪女子短期大学(6名)

9月：和歌山県社会福祉協議会／介護体験(1名)

平成29年

2月：京都女子大学(7名)

以上

平成28年度療育センターAOI事業報告

療育センターAOIでは、「もなみ」生活介護・就労継続支援B型、「リアン」生活介護、「エトワル」児童発達支援・放課後等デイサービス、「療育センターAOI」一般相談支援・障害児相談支援・特定相談支援（海南市・紀美野町から委託）、相談体制整備事業（和歌山県から委託）の4つの事業所で8つの事業を実施、展開しています。

もなみ・リアン（生活介護・就労継続支援B型）

もなみ・リアンは、利用者さん保護者の方、一人一人の思いをしっかりと受け止めさせて頂くために経営理念に基づき、職員一丸となって常に最善の支援をするよう心掛け、皆さんのが“もなみやリアンに行きたい”と思っていただけるような事業所を目指し取り組んでいます。

もなみ生活介護事業

平成28年度 定員15名 契約利用者21名（3月末時点） 平均利用者数18.0人

平成27年度に新卒2名の方と契約し利用契約者数が21名となって以後、受け入れ利用者数上限いっぱいのため、これ以上の利用者受け入れは難しい状況となっています。

もなみに通所できなくなった一人の利用者さんがいたのですが、その間にも自宅訪問や、来れるきっかけを見つけようと保護者とコンタクトをずっと取り続けてきたことで約2年半ぶりに通所を再開（初めは1時間程度の利用からで送迎も単独で行っている）出来る運びとなるなど、日々一人一人の利用者さんに向き合い、楽しんで来て頂ける事業所を目標に取り組みました。

全体的内容として、個別に体力に合わせて近隣をウォーキングするなどして健康と体力維持に努め、また花見やバーベキュー、プール（和歌山県子ども・女性・障害者相談センター）、クリスマス会、クッキング他など、季節感ある行事を取り入れるなど皆で楽しんで頂ける活動やブラシ作業（平成28年度一人当たり平均月額工賃￥920）を提供し、保護者や利用者の皆様に喜んで頂け、また利用者さんお一人お一人や保護者の思いを知るためにしっかりとコミュニケーションをとるよう心がけました。

もなみ就労継続支援B型事業

平成28年度 定員10名 契約利用者13名（3月末現在） 平均利用者数9.5人

一般就労を目指す方の支援を療育センターAOI相談員に協力して頂きながら、1名の方に就労移行支援事業所さんの見学を実施し、平成28年9月に就労移行支援事業所に移られる等、一人ひとりの思いをしっかりと捉え、支援に反映することが出来ました。ただ、そうすることでのリスクとして、能力の高い方がここ数年で3人抜けてしまいクッキー事業、雑貨事業における生産力は確実に低下してしまいました。そんな中、利用者さんの技術力向上と職員の頑張りで何とか利用者さんの工賃を維持することが出来ました。

平成28年度 月額平均工賃 ￥5,169（平成27年度 月額平均工賃 ￥5,167）

平成28年3月、新卒の利用者さん1名の方と新規利用契約を結び上記契約利用者数となります。その利用者さんは難病の方で現状の作業内容では工夫しても取り組むことは難しいため新たな自主創作製品の開発、また医療的サポートも必要であることから、支援学校に行き対応を在学中に見学に行くなどし、先生や保護者としっかり話し合いを持って生活介護事業看護師の協力を得ながら受け入れる体制を確立することが出来ました。

今後さらに職員間の情報交換、情報共有が重要で、今回の利用者対応に生かすことが出来ると思います。

リアン（重症心身障害者に特化した受け入れ）生活介護事業

平成28年度 定員6名 契約利用者10名（3月末現在） 平均利用者数4.7人

年間の行事は、季節に合わせてお花見やプール、秋には運動会、12月は保護者の方と共にクリスマス会など企画。その他、外食や買い物、クッキングや音楽活動、また「もなみ」と合同で焼き芋大会を実施、日々の活動において利用者の方に楽しく心地よい刺激ある時間を過ごして頂くことが出来ました。今年度は2名の方の成人式を行うことが出来、また、毎月2回理学療法士の訓練や月1回和歌山病院の巡回相談（レクレーション活動）を実施していて保護者の方にも大変喜んで頂いています。

一昨年福祉車両の導入により一部の利用者さんから始めていた送迎も、もなみの車両と合わせ2台使用することで、今年度はより対象人数を増やして実施することが出来ています。車椅子の使用や医療ケアが必要な重度の障害を持たれている方であることから、今まで保護者の方に負担をお掛けしていたのですが、福祉車両2台が導入出来たことで、送迎だけでなく買い物や外食、ドライブ等の外出活動にも車両での移動が出来ることで活動範囲や内容が飛躍的に充実し、保護者の皆さんには本当に喜んで頂くことが出来ました。

エトワル（児童発達支援・放課後等デイサービス）

平成28年度の登録者は12名（3月末現在）で、通常3～5名の利用者があり支援学校へ迎えに行き放課後対応をしてきました。春・夏・冬の長期休暇には8～10名程度の利用者があり地域で暮らす障害児の活動場所ご利用して頂くことが出来ました。

今年度3月に2名の利用者さんが高等部を卒業され、当事業も契約終了となり今迄エトワルで過ごされた様子をアルバムにしてプレゼントさせて頂きとても喜んで頂きました。

児童（子供）という事もあり、日頃から安全面での配慮を一番に考えながら活動を行っていますが、今年度も事故なく楽しく活動に取り組んでいただくことが出来ました。

活動内容は日頃散歩や軽運動を行っていて、その他クッキングや音楽、制作、課外活動などを取り入れ、夏季はプールを含む水遊び活動で皆さん弾ける様に楽しむなど、集団での取り組みを中心に実施するなど、個々に合わせた対応と発達支援、療育支援を実施してきました。

以上三つの事業については別紙の平成28年度行事報告をご覧ください。

療育センターAOI（一般相談支援・障害児相談支援・特定相談支援）

平成28年度は相談支援専門員を1名増員して頂け4名体制で事業を進めてきました。

相談支援事業として、地域の障害児・者（家族）の相談を受けていく中（本人や家族の悩み、福祉サービス事業所の調整、通院の同行や申請の代行など様々な生活のことについて対応している）海南市、紀美野町から委託相談支援事業所として委託されているため、海南海草圏域の自立支援協議会の運営（すべてにおける会議や研修などの企画運営など）や特定相談支援事業所の関わっている困難事例に対しても対応しています。相談件数においてもやはり少しずつ多くなってきていて、サービス等利用計画についても300件以上受け持っていることもあり、また委託相談支援事業所として自立支援協議会の運営に積極的にかかわるなど、職員は精神的負担も多い中、一人一人頑張ってくれています。

相談支援体制整備事業（アドバイザー）

和歌山市と海南海草圏域を担当エリアとして、自立支援協議会の運営、地域の困難事例について委託相談事業所とともに対応したりしてきました。また、和歌山県の自立支援協議会で各圏域の地域課題を検討してきました。

別紙

月	もなみ生活介護	もなみ就労継続支援B型	リアン	その他	エトワール
4月	花見(はぎのせ公園) 6日 花見(マリーナ公園) 太陽の丘祭り販売 新利用者歓迎会(すたみな太郎)	8日 3日 22日 保護者会総会	花見(温山荘) 4・5・6日 クッキング(杏仁豆腐) 22日 避難訓練 27日	避難訓練 診察(朝井Dr.)	5日 27日
5月	合同中庭/バーべキュー 13日	クッキング(たこ焼き)	22日 避難訓練	10日
6月	お楽しみランチ(木の実屋) 24日 外食(丸亀製麺/ガスト) 海南医療センター販売月 障害者スポーツ大会	24日 12日 9日 重里Dr. 診察	クッキング(中華料理) 10日 防災訓練(火災・津波避難) 21日	お楽しみランチ(ほつかまつわ亭) 27日 クッキング(ホットケーキ)	29日
7月	おやつかフェ(トマト&オニオン) 5グループ 11日～15日 プール(県障害者子供センター) 5・19日	26日 9日 7／11～8／31 クッキング(チョコバフエ)	外食(トマオニ／すたみな太郎) 9日 プール(中庭) 7／11～8／31 クッキング(チョコバフエ)	防災訓練(火災・津波避難) 27日 避難訓練 9日 避難訓練 9日	外食(大阪王将) 5日 県障害者子供センター・プール 9日 クッキング(塩焼きそば) 10日 ピザパーティー(トリルバーティー) 17日 県障害者子供センター・プール 22日 クッキング(ブリリアラモード)
8月	プール(県障害者子供センター) 1日 外食(王将)5グループ 12～16日	海南医療センター販売月 ふれあい福祉フェスティバル販売 24日	クッキング(さつま芋ケーキ)	12日 避難訓練	24日
9月	海南医療センター販売月 ふれあい福祉フェスティバル販売 24日	外食(すたみな太郎・マグドナルド・31アイスクーム) 4日	運動会 11日 こども科学館見学4グループ 25日～28日 クッキング(ポテト)	避難訓練 3日 避難訓練 3日
10月	もみじ狩り(野上ふれあい公園) 市社協主催ふれあい交流会(海南総合福祉センター)	28日 23日 忘年会(外食)(すたみな太郎)	海南市人権フェスタ(クッキー販売) 12日 クリスマス会(海南総合福祉センター)	外食(王将) 21日 クリスマス会(保護者・園教さん) 15日 クリスマスクッキング(ケーキ)	避難訓練 8日 防災訓練(火災・津波避難) 10日 職員会議 7日 冬期休暇 29日～1月4日
11月	ゆうあいスポーツフェスタ 25日	海南医療センター販売月 忘年会(外食)(すたみな太郎)	海南市人権フェスタ(クッキー販売) 12日 クリスマス会(海南総合福祉センター)	外食(王将) 21日 クリスマス会(保護者・園教さん) 15日 クリスマスクッキング(ケーキ)	避難訓練 8日 防災訓練(火災・津波避難) 10日 職員会議 7日 冬期休暇 29日～1月4日
12月	初詣(玉津島神社) 5・6日	初詣(玉津島神社) 成人式 センター焼き芋 23日	10日 15日 セントー焼き芋 23日 外食(すたみな太郎・すき家・スタバ) 海南医療センター販売月	初詣(浜の宮神社) 11・12日 成人式 クッキング(ミズストローチ) 10日 クッキング(カレーライス)13日 ひな祭りパーティー	避難訓練 11日 避難訓練 10日 避難訓練 7日 避難訓練 7日
1月
2月	外食(王将)5グループ 6日～10日	24日 節分豆まき クッキング(カレーライス)13日 ひな祭りパーティー	診察(朝井Dr.) 10日 避難訓練 7日 外食(トマト&オニオン) 28日 クッキング(焼きそば)	29日
3月